

【主治医確認書】 ～消化管内視鏡検査における抗血栓薬の休薬について～

平素より大変お世話になっております。

この度、当院にて患者様の消化管内視鏡検査を行う事となりましたが、貴院より抗血栓薬の処方を受けていると伺いました。当院では「抗血栓薬服用者に対する消化管内視鏡診療ガイドライン」に基づき、抗血栓薬の休薬について下記のように定めております。

お手数ではございますが、内容をご確認の上、「～主治医記入欄～」に休薬可否や休薬期間をご記載いただきたく存じます。患者様のリスクを最小限にする為にもご協力のほど、宜しく願い申し上げます。

【当院の基準】

当院では休薬に伴う血栓塞栓症のリスクを低減するため、抗血栓薬の内服を継続した状態で検査及び内視鏡治療が可能な場合があります。検査医の判断のもと、安全性を考慮して治療・検査を行います。抗血栓薬休薬に伴う血栓塞栓症のリスクが低い場合はより安全に内視鏡検査を行うため、休薬を検討いただくようお願いしております。当院での治療が難しい病変を発見した場合は、入院可能な施設への紹介を行うなど、適切な対応を行います。

□下部消化管内視鏡検査(大腸ポリープ切除の希望あり):

抗血栓薬の内服が1剤までであれば内視鏡治療が可能な場合もありますが、より安全を期するため休薬をご検討ください。休薬する場合は、「抗血栓薬の休止薬一覧表」にて休薬期間を確認ください。

※チエノピリジン/チカグレロル以外の抗血小板剤を2剤以上内服している場合、抗血小板剤が単剤であればポリープ切除が可能になりますので休薬の可否をご検討ください。

※抗凝固薬(ワルファリンカリウムや直接経口抗凝固薬;DOAC)服用中の方、チエノピリジンまたはチカグレロルを含む抗血栓薬を2剤以上服用中の方はポリープ切除を行うことができないため休薬の必要はありません。

□上・下部消化管内視鏡検査(観察・生検のみ希望):

抗血栓薬は休薬不要です。

※ワルファリンカリウム(ワーファリン等)を服用中の方は生検不可のため休薬の必要はありません。

～主治医記入欄～

【患者名】 _____

【休薬可否】 可 ・ 不可 (○をつけてください)

【休薬する抗血栓薬名および休薬開始日】

_____ を _____ 日間休薬

※検査当日は休薬期間に含みません

※内服再開時期は検査医が指示いたします

【記載日】 20__年__月__日

【医療機関名】 _____

【医師名】 _____

ご不明な点がございましたら下記へご連絡ください。

医療法人社団 東京ミッドタウンクリニック

TEL03-5413-0080(平日9:00～12:30, 14:00～17:00)